

都市再生整備計画 事後評価シート  
茅ヶ崎中央西部地区

平成26年10月

神奈川県茅ヶ崎市

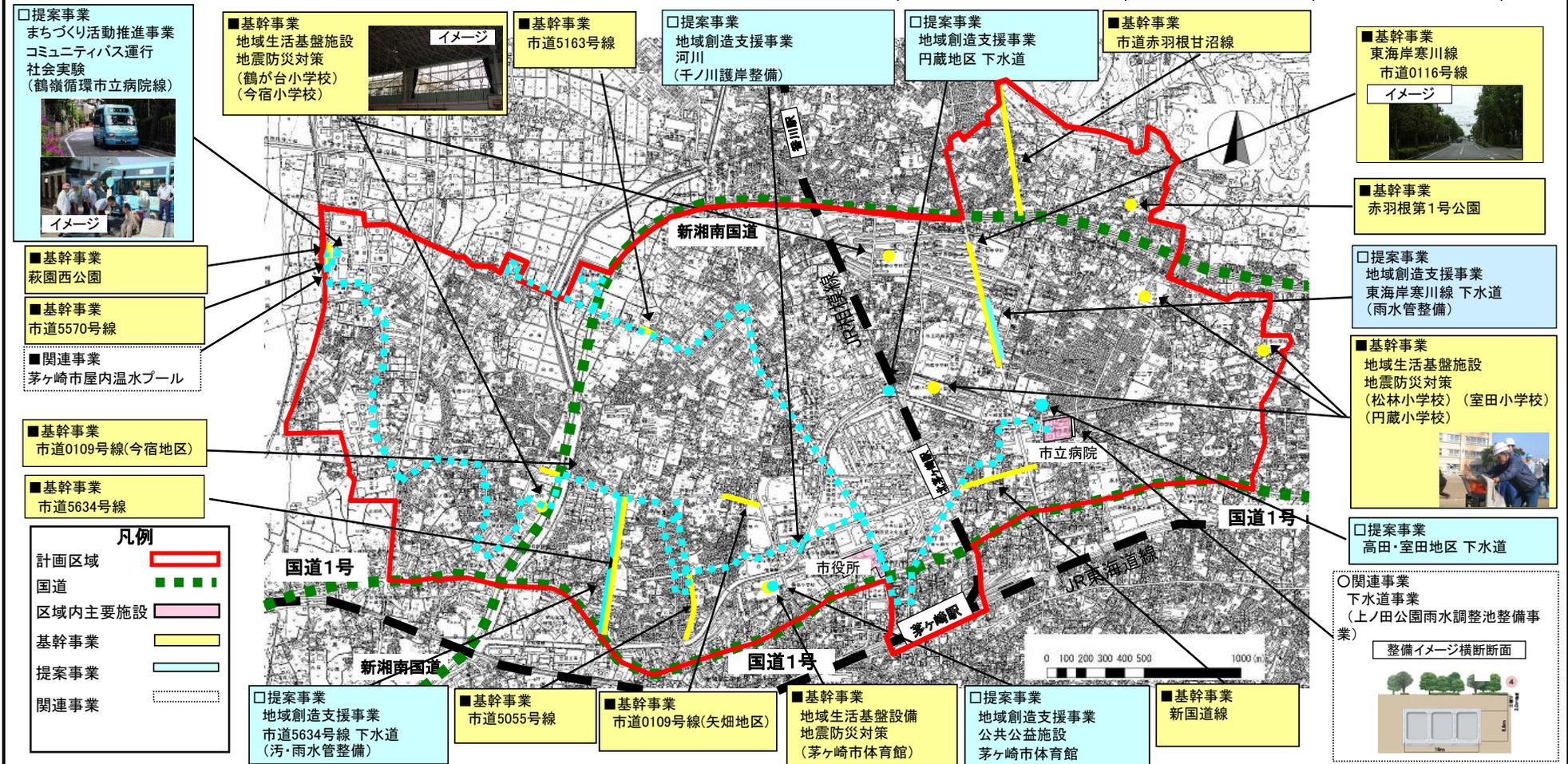
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	神奈川県		市町村名	茅ヶ崎市		地区名	茅ヶ崎中央西部地区			面積	921ha		
交付期間	平成19年度～平成23年度		事後評価実施時期	平成25年度		交付対象事業費	3,008百万円	国費率	40.3%				
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路(東海岸寒川線等6路線)、地域生活基盤施設(地震防災対策 松林小学校他4校)										
		提案事業	地域創造支援事業(下水道4箇所)、まちづくり活動推進事業(コミュニティバス運行社会実験)										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名 なし										
		提案事業	事業名 なし										
	新たに追加した事業	基幹事業	道路(市道0109号線(今宿地区)、市道0109号線(矢畑地区)、市道5055号線、市道5570号線、公園(萩園西公園、赤羽根第1号公園)、地域生活基盤施設(茅ヶ崎市体育館)				市道0109号線:茅ヶ崎駅周辺のアクセス路及び通学路であり、歩行者等の安全性・利便性向上のため 市道5055号線:暗渠化による交通量等の増加に伴う、歩行者等の安全性確保のため 市道5570号線:茅ヶ崎市屋内温水プールの建替に伴い、施設へのアクセス確保のため 萩園西公園:茅ヶ崎市屋内温水プールの建替に伴い、周辺住民の生活環境向上のため 赤羽根第1号公園:都市公園の設置による、緑地の保全と地域の生活環境向上のため 茅ヶ崎市体育館:老朽化した体育館の耐震改修を行い、避難所としての機能を果たすため			茅ヶ崎市体育館:指標2の数値目標を7%上方修正 ※上記事業以外、指標に影響なし			
		提案事業	地域創造支援事業(茅ヶ崎市体育館、千ノ川護岸整備)				茅ヶ崎市体育館:老朽化した体育館の耐震改修に伴い、施設内の利用環境を整備し、利便性向上を図るため 千ノ川護岸整備:集中豪雨等治水水面での対策として、護岸整備を行い浸水被害の軽減を図るため			影響なし			
交付期間の変更	当初	平成19年度～23年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	地区内の移動時間	%	100	H18	85	H23	100	85	○	あり なし	幹線道路の整備やコミュニティバス運行により、移動の利便性が向上し、移動時間の短縮につながった。	
	指標2	防災性の向上	%	64	H18	107	H19	107	107	○	あり なし	屋内運動場の耐震化や、体育館を整備し避難施設としての充実につながった。	
	指標3	生活環境の向上	%	67	H18	72	H23	82	82	○	あり なし	事業実施地区の定住意向の向上が上昇した。	
	指標4										あり なし		
	指標5										あり なし		
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	その他の数値指標1		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標2												
	その他の数値指標3												
4) 定性的な効果発現状況													
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	市政アンケート等の統計資料によるモニタリング		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● アンケート等実施による統計データの整理を行い、継続的に進行管理を実施。					
	住民参加プロセス	コミュニティバス運行改善に向けたグループインタビュー		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 住民の要望を踏まえ、平成22年度に運行改善を実施し、今後も住民の意見を伺いながら効果的な改善を行っていく。					
	持続的なまちづくり体制の構築	社会資本整備総合交付金の庁内組織の構築		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 引き続き、事業推進のため横断的連携を図っていく。					

## 様式2-2 地区の概要

茅ヶ崎中央西部地区(神奈川県茅ヶ崎市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標: 誰もが安全に安心して快適に暮らせる生活環境づくり	地区内の移動時間	単位: %	100% H18	85% H23
目標1: 「地区内の交通移動性の向上」	防災性の向上	単位: %	64% H18	107% H19
目標2: 「災害に強いまちづくり」	生活環境の向上	単位: %	67% H18	72% H23
目標3: 「生活環境の向上」				82% H23



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域防災計画上の避難所(屋内運動場)の耐震補強を実施し、避難所としての機能確保が図られた。</li> <li>・東海岸寒川線の整備が完了し、災害時の緊急車両の移動性が向上した。また、その他道路改良事業により、歩行者の安全性確保につながった。</li> <li>・市道5634号線、円蔵地区のポンプの設置が完了し、浸水区域を解消した。</li> <li>・コミュニティバス(鶴嶺循環市立病院線)の運行開始し、交通空白地区を解消した。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難施設の設備の更新</li> <li>・歩道のない道路に対する歩行者空間の確保</li> <li>・地区内の浸水区域のさらなる解消</li> <li>・今後も住民の意見を反映し、ニーズに見合った運行改善。</li> </ul>